

2006年6月27日

問題発見技法

データの整理・分析
～QC七つ道具・新QC 七つ道具～

2006/6/27 Confidential 情報学部 堀田敬介

品質管理とは？

- 品質(Quality)
 - 「品物またはサービスが、使用目的を満たしているかどうかを決定するための評価の対象となる固有の性質・性能の全体」 [JIS Z8101]
- 品質管理(Quality Control, QC)
 - 「買い手の要求に合った品質の品物またはサービスを経済的に作り出すための手段の体系。」
- PDCAサイクルによる品質管理活動
 - QCサークル
 - QCの診断
 - 5S運動の徹底（整理・整頓・清掃・清潔・躾）

2006/6/27 Confidential

品質の分類 1

- 製造段階による分類
 - 企画品質
 - 顧客の要求している品質を定義、製品コンセプトに盛り込む
 - 設計品質(ねらい品質)
 - 設計図・製品仕様書で定められる品質。企画した品質を反映しているかどうかなど。
 - 製造品質(適合品質)
 - 製品が狙い通りに製造できているか。
 - サービス品質
 - 製品・技術提供後のサポート

2006/6/27 Confidential

品質の分類 2

- 顧客満足度・購買意欲への影響度による分類
 - 当たり前品質
 - 充足されて当たり前、不十分ならば不満が出る。
 - 魅力的品質
 - 充足されれば満足、不十分でも不満は出ない。
 - 一元的品質
 - 充足されれば満足、不十分なら不満が起こる。
- 製品性能に対する影響度からの分類
 - 機能的品質
 - 製品の性能に直接影響
 - 非機能的品質
 - 製品の性能に直接影響しない

2006/6/27 Confidential

品質管理とは？

- 品質(Quality)
 - 「品物またはサービスが、使用目的を満たしているかどうかを決定するための評価の対象となる固有の性質・性能の全体」 [JIS Z8101]
- 品質管理(Quality Control, QC)
 - 「買い手の要求に合った品質の品物またはサービスを経済的に作り出すための手段の体系。」
- 総合的品質管理(Total Quality Control, TQC) i
- 統計的品質管理(Statistical Quality Control , SQC) i

2006/6/27 Confidential

品質保証

- 品質保証(Quality Assurance)
 - 「消費者の要求する品質が十分に満たされていることを保証するために、生産者が行う体系的活動」
- 信頼性の保証
 - 評価尺度 …稼働率・故障率・MTBF・MTTR i
- 製造物責任(Product Liability, PL)
 - 製造物の欠陥により、人の生命・身体・財産に被害が生じた場合、製造業者が追うべき損害賠償責任
- 顧客満足度(Customer Satisfaction, CS)
- ISO9000シリーズ
 - ISOが制定する品質管理と品質保証に関する規格

2006/6/27 Confidential

問題の発見と解決

問題解決のための道具

■ QC七つ道具・新QC七つ道具

```

graph TD
    A[基本的QC活動] --> B[目標の設定]
    B --> C[データの収集]
    C --> D[対処  
原因分析、改善]
    B --- E["QC七つ道具・新QC七つ道具  
収集したデータからさまざまな情報  
を読み取るために使われる基本的  
な道具"]
    C --- E
    D --- E
  
```

2006/6/27

Confidential

例: 「[ExcelとPowerPointを使った問題解決の実践](#)」-「[QC](#)」

QC七つ道具

新QC七つ道具

QC七つ道具 [1/7]

■ パレート図

- 重点指向に役立つ道具
 - 複数問題の中で重要な問題から取り上げる
 - 多くの原因の中から影響度の高いものより対策

ABC分析

売上伝票ミス件数

項目	件数(件)
金額計算ミス	10
金額記入ミス	100
数量計算ミス	20
品目記入ミス	40
日付記入ミス	8
その他	22
合計	200

売上伝票ミス件数(ゾーナ後)

項目	件数(件)	構成比(%)
金額記入ミス	100	50%
品目記入ミス	40	70%
数量計算ミス	20	60%
金額計算ミス	10	85%
日付記入ミス	8	89%
その他	22	100%
合計	200	

2006/6/27

The chart illustrates the ABC analysis principle. The vertical axis represents the cumulative percentage of items, ranging from 0% to 100%. The horizontal axis represents the cumulative number of items, also ranging from 0 to 120. A blue curve shows the cumulative distribution of items. A legend indicates that the dark grey area represents the number of items (件数) and the blue line represents the cumulative percentage (累積比率). The data points correspond to the values in the '売上伝票ミス件数(ゾーナ後)' table.

件数(件)	累積比率(%)
100	50
40	70
20	80
10	85
8	89
22	100

This chart provides a detailed view of the second category from the ABC analysis, which includes '金額計算ミス' (10 items), '品目記入ミス' (40 items), and '数量計算ミス' (20 items). The vertical axis shows the cumulative percentage from 0% to 100%, and the horizontal axis shows the cumulative number of items from 0 to 120. The blue curve shows the distribution of these three types of errors. The legend indicates that the dark grey area represents the number of items (件数) and the blue line represents the cumulative percentage (累積比率).

件数(件)	累積比率(%)
10	50
40	70
20	80
10	85
8	89
22	100

QC七つ道具 [3/7]

- ヒストグラム**
 - データの分布状態を調べる道具
 - データのバラツキを読み取る
 - 区間設定をし、頻度を集計

ある製品50個のサイズ測定データ

データ区間	頻度
39.5 - 42.5	0
42.5 - 45.5	2
45.5 - 48.5	10
48.5 - 51.5	3
51.5 - 54.5	13
54.5 - 57.5	16
57.5 - 60.5	4
60.5 -	2

2006/6/27 Confidential

QC七つ道具 [3/7]

- 補足: 頻度表階級数の目安**
 - スタージェスの公式

$$k \approx 1 + \log_2 n = 1 + \frac{\log_{10} n}{\log_{10} 2}$$

(k : 階級数, n : データ数)

例では $n=50$ ので
 $k \approx 1 + \frac{\log_{10} 50}{\log_{10} 2} \approx 1 + \frac{1.69897}{0.30103} \approx 6.64$

より、階級数は6か7ぐらいが目安となる

2006/6/27 Confidential

QC七つ道具 [4/7]

- 散布図**
 - 2種類のデータの関係をつかむ道具
 - 原因と結果の関係?
 - 相関関係?

データ:
環境省花粉観測システム「はなこさん」より
2006年2月20日17時～5月31日24時
(HP URL: <http://karun.nies.go.jp/>)

注: 500個/m³までのデータのみ描画
つくば市最大飛散数: 2006/3/31 14時 7794
横浜市最大飛散数: 2006/4/19 14時 758

2006/6/27 Confidential

QC七つ道具 [5/7]

- 管理図**
 - 製造工程の管理・監視に役立つ道具
 - 製造工程が安定した状態にあるかどうか判断するため、品質特性のバラツキを管理する
 - 品質特性のバラツキのとは
 - 偶然原因によるバラツキ ... 通常の方法で正しい作業を行っているのに出てしまう、やむを得ないバラツキ
 - 異常原因によるバラツキ ... 作業の不備、設備の異常など、何らかの異常によるバラツキ
 - バラツキの管理
 - 管理線 ... 中心線(Central Line), 上部管理限界線(Upper Control Limit), 下部管理限界線(Lower Control Limit)
 - 管理の誤り
 - 第1種の誤り ... 偶然原因によるバラツキなのに異常原因だと見なす
 - 第2種の誤り ... 異常原因によるバラツキなのに偶然原因だと見なす

2006/6/27 Confidential

QC七つ道具 [5/7]

- 管理図の種類**
 - 正規分布
 - 計量値の管理図**
 - 長さ、重量などの測定値で連続的に変化する値
 - 不適合品率・欠点数などの離散的な値
 - 計量値の管理図**
 - 品質を不適合品数で管理
二項分布 $\bar{n}\bar{p}$: 各群の不適合品数の平均 $n\bar{p} \pm 3\sqrt{n\bar{p}(1-\bar{p})}$
サンプル n 個中に r 個の不良品
 - 品質を不適合品率で管理
 \bar{p} : 各群の不適合品率の平均 $\bar{p} \pm 3\sqrt{\bar{p}(1-\bar{p})/n}$
 - c管理図**
 - 品質を欠点数で管理
ポアソン分布 \bar{c} : 各群の欠点数の平均 $\bar{c} \pm 3\sqrt{\bar{c}}$
サンプル数 n 定でないときは \bar{u} : 各群の欠点率の平均 $\bar{u} \pm 3\sqrt{\bar{u}/n}$

QC七つ道具 [5/7]

- 管理図の種類 \bar{X} -R管理図**
 - \bar{X} 管理図
 - R管理図

2006/6/27 Confidential

QC七つ道具 [6/7]

- グラフ**
 - データの特徴を視覚化
 - データ分析の基本
 - 代表的なグラフの種類と基本的役割
 - 棒グラフ … 数量を比較
 - 折れ線グラフ … 動きを見る
 - 円グラフ … 比率を見る
 - 帯グラフ … 比率を比較する
 - レーダーチャート … バランスを見る
 - ガントチャート … スケジュール管理
 - 「分析」用と「説明・報告」用の使い分け

2006/6/27 Confidential

QC七つ道具 [7/7]

- 特性要因図(魚骨図, fish bone diagram)**
 - 原因候補を整理
 - 不具合発生時など、原因が複数ある場合にその候補一覧を整理し、原因究明に役立てる

新QC七つ道具 [1/7]

- 連関図**
 - 複雑に絡んだ原因を探索
 - 複数の問題の原因が複雑に絡み合っている場合、その候補一覧を整理して課題の構造を図解化したり、因果関係を明らかにして原因究明に役立てる

新QC七つ道具 [2/7]

- 系統図**
 - 方策の立案に役立つ道具
 - 目標達成のための方策を順序だてて決め、問題解決のための実施可能な方策を得る
 - 目的・課題の観点で枝分かれさせ、目的を果たす手段を系統的に考えて実行可能な改善策の中身を明らかにする

新QC七つ道具 [3/7]

- マトリックス図**
 - 複数の事象の対応関係を整理
 - 複数の問題・複数の原因が絡み合っている場合に、その対応関係を整理したり、洗い出した要因・対策を複数の項目で評価する

新QC七つ道具 [4/7]

- PDPC (Process Decision Program Chart, 過程決定計画図)**
 - 不測の事態に対応
 - 事前に、考えられる様々な事態を想定し、対応計画を立てておく
 - 計画の遂行過程において、不測の事態が起つても対応出来るようにするため(リスクマネジメント手法)

開始・到達	不測の事態(課題・問題)の出発点
実施事項	開始から到達までに至る過程の中で実施する対策・方策
状態・事象	実施事項を実行した結果の状態・事象
条件分岐	条件により、状態が真(True)か偽(False)に分かれるポイント
矢印	時間の経過、事態の進行や順序
点線矢印	時間とは無関係な経過、情報の流れ

2006/6/27

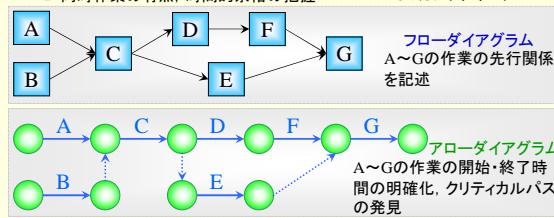
新QC七つ道具 [5/7]

アロー・ダイアグラム (arrow diagram)

日程計画立案

- 作業・実施項目の最適な日程計画を立案
- 効率よく進捗管理を行う
- 同時作業の有無、時間的余裕の把握

Cf. ガントチャート



2006/6/27 Confidential PERT (Program Evaluation and Review Technique)

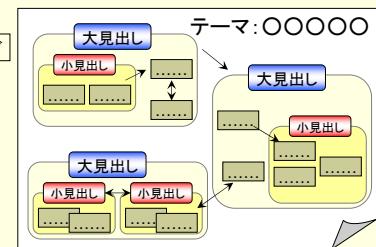
新QC七つ道具 [6/7]

親和図

言語データの統合・発想法

- 意見・アイデアを統合・集約し、新たな発想をもたらす
- 事実などを言語データとして捉えて図解化
- テーマの発見、問題の整理、顧客要求品質の把握

ブレインストーミングなど
KJ法など



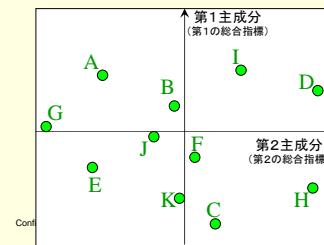
2006/6/27

新QC七つ道具 [7/7]

マトリックス・データ解析法 (=主成分分析)

多变量データの統合

- 複数の特性による評価において、個々の指標や特性を変数として、変数が持つ情報を要約した統合評価による指標を求める
- 情報の縮約(なるべく少ない合成変数で、なるべく多くの情報を把握)
- 対象のグループ化
- 商品のポジショニング



2006/6/27

参考文献

- 杉浦忠「ExcelとPowerPointを使った問題解決の実践」日科技連(2002)
- 細谷克也「QC七つ道具100問100答」日科技連(2003)
- 内田治「ビジュアル品質管理の基本」日本経済新聞社(1995)
- 荒木勉監修、穴沢務「Excelで学ぶデータ解析」実教出版(2000)

2006/6/27

Confidential